

授業概要

この授業では、情報メディアの基礎的な仕組みや歴史を理解しながら、メディアと教育、メディアと社会の関係について広い視野で捉えることを目指して講義する。著作権やメディア・リテラシーなど、今日の情報社会においては、どのような分野で活動を行うにしても重要となるトピックについても扱う。

授業計画

| | |
|--------|----------------|
| 第 1 回 | ガイダンス |
| 第 2 回 | メディアの歴史 |
| 第 3 回 | コンピューターと教育／社会 |
| 第 4 回 | 情報メディアの種類と特性 |
| 第 5 回 | マスメディアとは何か |
| 第 6 回 | インターネットとは何か |
| 第 7 回 | 知的財産権の基礎知識 |
| 第 8 回 | 教育における著作物の利用 |
| 第 9 回 | 図書館と個人情報 |
| 第 10 回 | メディア・リテラシーとは何か |
| 第 11 回 | ネット社会の光と影 |
| 第 12 回 | 情報検索の仕組みと方法 |
| 第 13 回 | 黒板の歴史 |
| 第 14 回 | 読書のメディア論 |
| 第 15 回 | まとめ |
| 第 16 回 | 筆記試験 |

到達目標

情報メディアの特性を理解し、情報活用能力を高める。
教育とメディアの関係についての幅広い教養を身につける。
現代のあらゆる実務現場において求められるメディア・リテラシーや情報倫理について理解する。

履修上の注意

この講義は卒業選択科目と学校図書館司書教諭課程必修科目を兼ねている。
パソコンやインターネットが利用できる学内施設を利用する可能性がある。
講義時にコメントシートを配布し、授業の感想や自らの考え、疑問点等を書く時間を設ける（コメントは評価対象に含める）。
受講者の人数によって内容や順番を若干変更する可能性がある。

予習・復習

書物やインターネットなどのメディアの特徴について日ごろから思考すること。
講義内で予習の課題が出た場合には締め切りまでに取り組むこと。
ノートを積極的にとり、見返して復習すること。

評価方法

筆記試験（60%）
コメントシートおよび授業への参加姿勢（40%）

テキスト

テキストは特に指定しない。
必要に応じて講義中にプリント配布やスライド投影を行なう。
参考書はその都度紹介する。